これからの学校と家庭・地域

近年、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しています。

学校は、いじめ・不登校、特別な配慮を必要とする児童生徒数の増加など、多様な児童生徒及び保護者への対応が必要な状況となっています。また、そのような学校の役割の拡大により教員の業務量が増加しているといった課題も出てきています。

一方、地域においても、家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化などにより地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されています。

コミュニティ・スクールとは

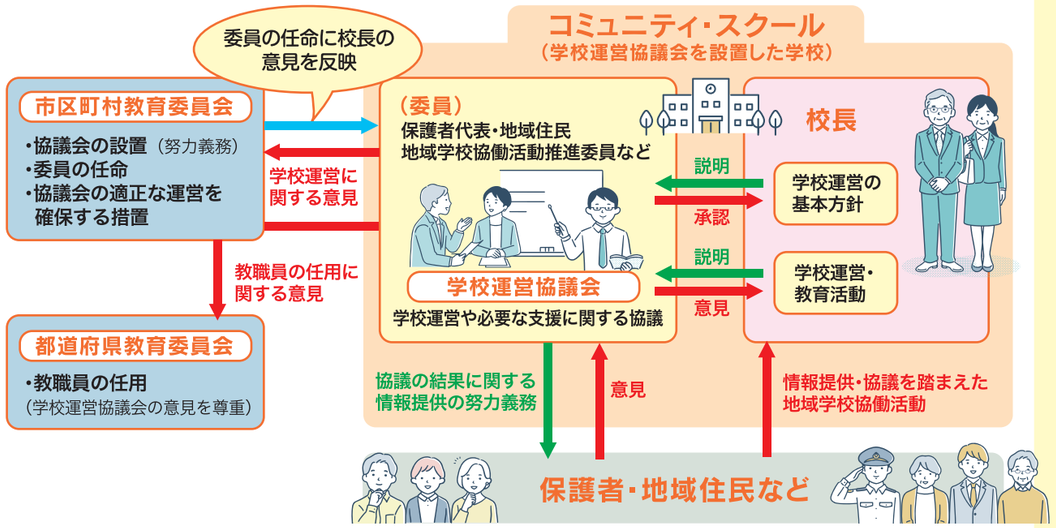
コミュニティ・スクール＝学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。
町は、4小学校１中学校全てに学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして取組を進めています。

学校運営協議会の主な３つの役割

1. 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
2. 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べること
3. 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べること

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



このような状況の中、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という学習指導要領の目標を学校と家庭・地域が共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが必要です。

町は、学校と地域住民などが力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進しています。

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関などの幅広い地域住民などの参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

次の時代を担う子どもたちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。

学校と協働して行う活動

1. 学校の授業終了後または休業日において学校、社会教育施設などで行う学習、その他の活動
2. ボランティア活動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動
3. 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して学校、社会教育施設で行う教育活動、その他の活動

学びによる町づくり・郷土学習

職場体験

郷土学習

地域の行事、ボランティア活動などへの参画

お田植祭

ルート10クリーン作戦

学校に対する多様な協力活動

登下校の見守り

読み聞かせ

習字指導

米作り

「目標」や「ビジョン」の共有

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現！